

科目名 地域の理解	授業担当者 森合 真由美 清水 有香	所属 秋田県看護協会 中通高等看護学院	
開講時期 :前期	単位数 :1 単位	時間数 :30 時間	
授業の目的 人々の生活の場としての「地域」を理解するとともに、地域で生活を営む人々の健康を支援するための基礎的な考え方や方法を理解できる。			
授業の概要 「地域の理解」のねらいは次のとおり 1. 地域や暮らしについて学び、人々の健康とのつながりを理解することができる。 2. 地域・在宅看護の視点から、自分が住む地域を知り、地域の特徴や多様性に気づくことができる。 3. 社会環境の変遷に伴う人々の暮らしや健康状態の変化を踏まえ、地域・在宅看護の役割や意義を理解することができる。 4. 私達の地域とそこに暮らす人々を理解し、地域の健康課題をとらえ、地域看護活動の必要性を理解することができる。			
受講上の注意・事前学習の内容 「地域の理解」について、テキストに添いつつ、学生自身が生まれ育った故郷や学院が立地する秋田市を題材に、グループワーク、フィールドワーク、発表、レポート等により学生が主体的に学習できるような授業内容とし、地域課題の理解・地域看護活動を学ぶ。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	地域とは何か～学生自身が生まれ育ったふるさとの暮らしを描く	講義・グループワーク	森合
2	健康関連のデータを分析し、地域特性を理解する	講義・グループワーク	森合
3	私たちの住む秋田市の特徴を知る～「健康あきた市 21」から	講義・グループワーク	森合
4	秋田市の健康状況を学生のレポートから深堀する	講義・グループワーク	森合
5	人々の暮らしと健康との関係～秋田市の健康課題とその対策を学ぶ	講義	森合
6	地域・在宅看護の役割について・健康な暮らしを具体的に描く	講義	森合
7	ヘルスプロモーションの観点から行動戦略を具体的に考える	講義・グループワーク	森合
8	地域システム理論、これからの地域・在宅看護に期待されること	講義	森合
9	地域の特性・人々の暮らしから、地域を理解し、ニーズを視る	講義	清水
10	私達の地域の理解:グループワーク・フィールドワークの計画	講義・グループワーク	清水
11	私達の地域の理解:グループワーク・フィールドワークの実施・まとめ	講義・フィールドワーク	清水
12	私達の地域の理解:グループワーク・フィールドワークのまとめ	講義・グループワーク	清水
13	私達の地域の理解:グループワーク・フィールドワーク発表会①	グループワーク	清水
14	私達の地域の理解:グループワーク・フィールドワーク発表会②	グループワーク	清水
15	私達の地域の理解まとめ:地域看護活動について	講義	清水
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 地域・在宅看護の基盤 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 森合担当 50%(筆記試験 40% 課題・グループワーク 10%) 清水担当 50%(ルーブリック評価:グループワーク・フィールドワーク)			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります